

「九電グループ統合報告書2022」の発行にあたって

九電グループでは、中長期的なビジョン・戦略や主要施策等を一貫性あるストーリーとしてご報告するため、2021年度から統合報告書を発行しています。

九電グループは、事業を通じて「社会価値」と「経済価値」を同時に創出するサステナビリティ経営を推進しており、2022年4月には、その実現に向けたマテリアリティ（経営上の重要課題）を特定しました。

昨年来、脱炭素化やアフターコロナ、ロシア・ウクライナ問題等、様々な要因が重なる中で、エネルギー市場を巡る不透明性が増しています。九電グループはそうした中においても、マテリアリティ解決に向けた取組みを着実に推進することで、持続可能な社会への貢献と九電グループの中長期的な成長を実現してまいります。

「九電グループ統合報告書2022」においては、マテリアリティを軸に、具体的取組みがいかに中長期的な企業価値向上に繋がるかをしっかりとお示しすることで、価値創造ストーリーの納得感向上に努めました。具体的には、経営ビジョン2030の実現に向けた財務目標・経営目標の進捗状況、TCFD提言に基づくシナリオ分析の深掘りや財務影響定量化の拡充、ガバナンス情報（役員報酬制度、取締役会の実効性評価等）等を中心に、記載の充実を図っています。

本報告書は、コーポレート戦略部門が編集の中心となり、社内の幅広い関係部署と協力し、作成しています。私は、本報告書の制作責任を担うESG担当役員として、その作成プロセスが正当であり、かつ記載内容に細心の注意を払って正確を期していることを表明いたします。

本報告書が、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションツールとして、当社グループをより一層ご理解いただくための一助となれば幸いです。今後も、皆さまとの積極的な対話を通じ、内容の更なる充実を図ってまいりますと考えておりますので、忌憚のないご意見、ご要望をお寄せください。



代表取締役 副社長執行役員
ESG担当

豊馬 誠

作成部署・お問い合わせ先

九州電力株式会社
コーポレート戦略部門 ESG統括グループ
〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
TEL:092-984-4313 FAX:092-733-1435